

# 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立竹園小学校
-----	------------

## 1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことができている。</li> <li>「書くこと」については、自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考えることができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。</li> <li>文の中における主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係を捉えること。</li> <li>記述式問題に対する無解答が一定数いること。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>「データの活用」については、データを二次元の表に分類整理することが概ねできている。</li> <li>「数と計算」については、示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べること。</li> <li>帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴を持った項目とその割合を記述すること。</li> </ul>
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝食を毎日食べている児童が多い。</li> <li>友達と協力をするのは楽しいと思っている児童が多い。</li> <li>国語や算数の勉強は大切であり、学習したことが、将来、社会に出たときに役に立つと思っている児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日当たりのテレビゲームをする時間が長いこと。</li> <li>自分のよいところや将来の夢、目標を見つけていくこと。</li> <li>困っている人に対して、進んで助けようとする。</li> <li>自分の思いや考えを言葉で表現したり、自分と違う意見について前向きに考えたりすること。</li> <li>家で自分で計画を立てて勉強すること。</li> <li>課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むこと。</li> </ul>

### 2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p><b>【国語】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業や家庭学習を通して、目的に応じて文章を一定の分量に要約する学習に取り組み、必要な部分を選び、内容を端的に説明する力を育成する。また、記述式の問題に対する経験を積み重ね、抵抗感を減らす。</li> <li>漢字や主語、述語、修飾語などの「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、日常生活の中で適切に使えるように折に触れて確認するとともに、繰り返し学習する機会を設け、定着を図る。</li> </ul> <p><b>【算数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>面積や速さ、割合など苦手意識を持つ子が多いものは、新しい学習に関連して振り返り取り扱う場面において、式の意味や計算の仕方などを再度丁寧に確認し、深い理解につながるようにする。</li> <li>モジュールや家庭学習の時間を活用して、既習内容の復習や図を活用して問題場面を捉える演習に取り組むことで、基礎的・基本的な知識・技能の向上を図る。</li> </ul>
--

### 2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<p>日頃より、本校の教育活動に御支援、御協力をいただきありがとうございます。令和3年度の全国学力・学習状況調査の結果が返ってきました。分析結果をもとに、主な傾向やお願いしたいことについてお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの感染拡大に伴う臨時休校や学校生活の様式が変化したこともあり、生活習慣の乱れや勉強に対する不安を感じている児童が多かったです。特に、1日の中でゲームをしている時間が長い傾向が見られました。子どもたちは、ゲームやタブレット、スマートフォンなどの情報機器に触れる機会が多く、放課後の過ごし方の中でも中心的なものへと変わっています。情報モラル教育に学校でも取り組みますが、御家庭でも使用上のルールやマナーについての話し合いをお願いします。</li> <li>友達との関わり方や行動に制限が生じていることもあり、自分の思いや考えを言葉で伝えること、話し合いを通して互いの意見のよさを見出すこと、学級活動の中で前向きに取り組む姿勢などに課題が見られました。それに伴い、挑戦心や自己肯定感・自己有用感にも課題が見られました。少しずつ新しい学校の生活様式に慣れてきてはいますが、まだまだ制限はあるかと思えます。その中でも、規則正しい生活の定着と規範意識の高まりを目指し、落ち着いて安心したよりよい学校生活を子どもたちが送れるようにしていきたいと思えます。今できることに一つ一つしっかり取り組み、達成感を積み重ねていくことで自己肯定感を高めていけるようにしていきます。</li> </ul> <p>調査結果を踏まえ、子どもたちの成長につながるよう、学校でもさらに指導をしていきますので、引き続き御家庭や地域の方々の御協力をお願いします。</p>
---